

## 膣閉鎖手術の臨床研究について

2024年7月1日

近年人口の高齢化が進んでおり、それに伴い女性の骨盤臓器脱(pelvic organ prolapse: POP)を含む骨盤底疾患は増加しています。

POP に対する手術として人工材料(メッシュ)を留置する方法が導入されていますが、メッシュ手術特有の合併症があるため、native tissue repair(NTR) すなわちメッシュを用いない方法が見直されています。

POP に対する膣閉鎖術は低侵襲であり、再発率が低いため患者満足度が高いとの報告があります。

今回、当科では「骨盤臓器脱に対する膣閉鎖手術」について振り返り、手術時間、出血量、手術内容を比較し、治療成績の検討を行います。

具体的には、2019年5月から2023年12月までの4年7か月間に当科で膣閉鎖手術を行った患者さんの手術記録および手術前後にご協力いただきましたアンケート結果の参照を行います。

当研究に関しまして、倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。当研究を実施することによる、皆様への負担は一切なく、また個々のプライバシー保護を最優先とさせていただきます。

なお、本研究への協力をご希望されない方は、その旨を下記に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。ご協力いただけない場合であっても診療において不利になることは一切ございません。

当研究について、ご不明な点、ご質問などございましたら、下記研究責任者までご連絡ください。よろしく願いいたします。

研究責任者  
所属 行徳総合病院 婦人科  
職名 医員  
氏名 谷村 史人

連絡先電話番号 047-395-1151(代表)